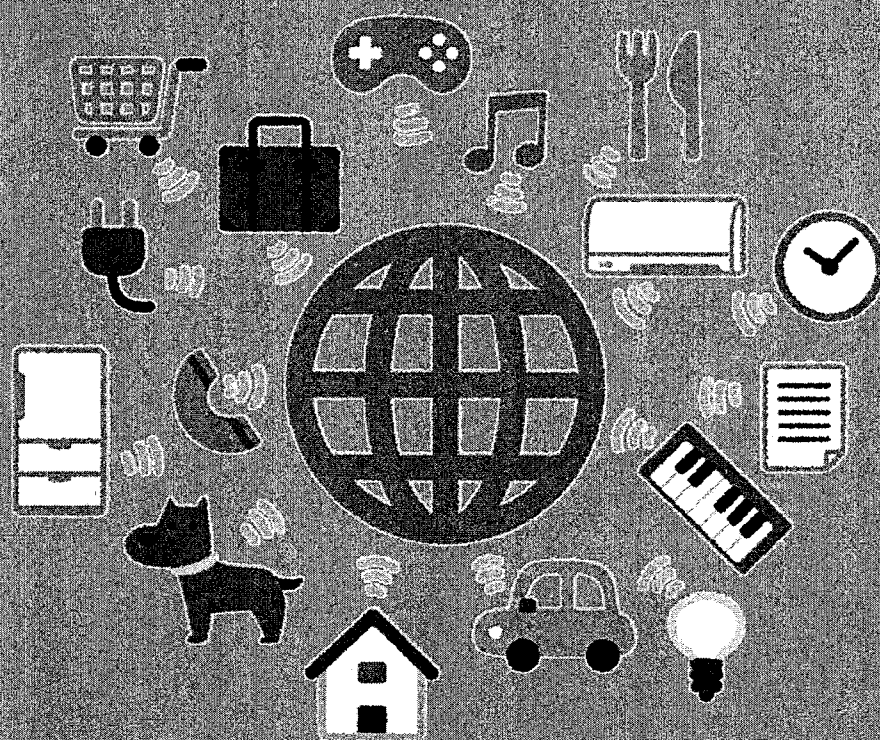


インターネットトラブル事例集 (平成29年度版)



総務省 総合通信基盤局 消費者行政第一課 青少年担当

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

写真をアップするかも
しれないから、
自宅や学校が分かるものは
写さないように。

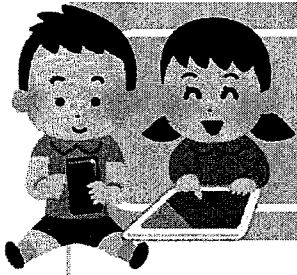


目次

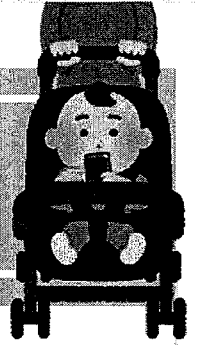
乳幼児とデジタル機器について考えてみましょう！	3
データで考える！インターネットトラブルの現状と傾向	5

インターネットトラブル事例内容

① スマホの過度な使用による日常生活への支障	7
② 無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ	8
③ なりすまし投稿による誹謗中傷	9
④ 個人や学校などへの脅迫行為	10
⑤ SNSやネットで知り合った人による性犯罪被害	11
⑥ コミュニティサイトなどを使った未成年によるアプローチ	12
⑦ 友人間で回すメッセージによる待ち伏せ被害	13
⑧ SNSなどへの投稿内容から個人が特定	14
⑨ 旅行中の写真投稿や書き込みによる空き巣被害	15
⑩ 自らIDとパスワードを教えたことによる被害	16
⑪ ゲームに夢中になっている最中に生じた高額課金	17
⑫ オンラインショッピングやフリマアプリでのトラブル	18
⑬ ワンクリック詐欺やウイルスなどによる不当請求	19
⑭ 不正アプリやウイルスによる個人情報漏えい	20
⑮ 悪意あるWi-Fiスポットを利用したことによる情報流出	21
⑯ 動画の違法なアップロードとダウンロード	22
⑰ 自分でプログラミングしたウイルスをアップロード	23
子供にスマートフォンを持たせる前に(チェックシート)	24
フィルタリングの設定方法	25



乳幼児とデジタル機器について 考えてみましょう！



家の中、飲食店や公共交通機関の中など、さまざまところで幼い子供がスマートフォンやタブレットを使う姿をみかけることが多くなりました。「スマホばかり使いたがる」「タブレットがないとおとなしくてくれない」などの悩みを抱えている保護者も少なくないようです。

本来、スマートフォンもタブレットも大人のための道具、保護者が使っている機器を無防備にそのまま使わせることはお勧めできません。なぜなら、子供は「安全に使うための方法」を全く知らないからです。

乳幼児の保護者のみなさんだけでなく、これから出産される予定のかたも、小さな子供たちとデジタル機器についてあらためて考えてみませんか？

生まれた直後から、大人の笑顔の横にスマホというカメラがある



スマホが一般市場に登場してから、10年が経とうとしています。ですから、乳幼児の保護者の場合、子供が生まれる前からスマホを使っていた人も多く、生まれた直後からの可愛い写真がスマホの中にいっぱい保存してあったりします。

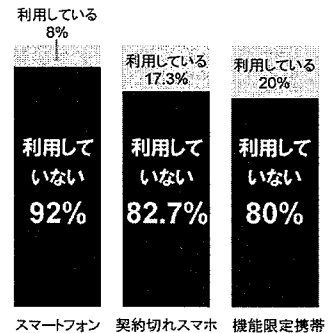
「寝返りした！」「初めて〇〇を食べた！」「立った！」ほか、何かにつけて写真や動画をスマホで撮影する日常は、子供の目にはどう映るでしょう？ 大好きなパパやママの笑顔と常に一緒に目に飛び込んでくるスマホは、身近で楽しい魅力的な道具と感じ、興味がわくはずです。また、食べていても遊んでいても「こっち向いて」とスマホを向ければ子供の行動を邪魔することにつながり、「スマホによる中断は当たり前」と刷り込んでしまうかもしれません。

子供の成長記録を残すことは何も悪くないのですが、このような状況だと、「食事中にスマホはダメよ」とか「よそ見をしないで集中なさい」などと叱れなくなってしまいそうです。

10歳に満たない子供たちが普通にインターネットを使う時代

内閣府の調査*(9歳以下の子供を持つ保護者対象)によると、ゲーム機、スマートフォン、学習用タブレット、子供用携帯電話のほか、何らかの機器でインターネットを利用している子供は約4割。そのうち、一人で操作することがある子供は7割を超えています。内容は、動画視聴(85.4%)、ゲーム(65.8%)、知育(30.4%)の順に多く、平均利用時間は60分程度となっています。

インターネットを使わせていると回答した保護者の4人に1人が「注意してもインターネットをやめない」と答えており、インターネットを巡る問題は低年齢化の一途を辿っているようです。



【*参考】内閣府「低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査」(平成29年5月)より

グラフは、子供に使わせている「スマートフォン」「契約切れスマホ」「機能限定携帯電話」等へのフィルタリング利用率

フィルタリングを導入しても、有効(オン)/無効(オフ)はいつでも切り替え可能

保護者のスマホやタブレットは、利用者が成人なので購入時にフィルタリングの説明はなく、フィルタリング・サービスにも未加入。小さな子供にそのまま使わせる事態は避けたいのですが、上記調査では、自身が普段使っているスマホにフィルタリングを設定して貸し与えている保護者は8%。親スマホによるトラブルが年々増えていることもうなずけます。

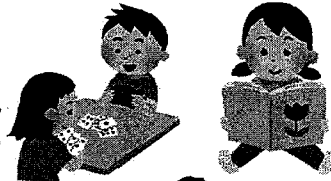
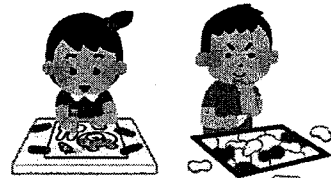
未就学児用のフィルタリングは残念ながらありません。でも、小学生用フィルタリングをオンにして貸し与えることで、不適切な情報に触れる可能性は激減します。常に大人と一緒に操作することが望ましい年齢ですが、やむをえず子供のみで使わせることがあるなら、貸し出す際に「フィルタリングON」という、ほんのひと手間をかけてあげましょう。

幼い子をもつ保護者のよくある質問

健康や発達に影響がでてこないかが心配

発達途中にある子供がデジタル機器を使うことによる直接の影響は、まだよくわかっていません。でも、寝る前の使用は興奮状態になることで、良質な睡眠を妨げるとも言われています。目や首への負担もかかり、部品の誤飲なども起きている現状を考えれば、遊び道具として適しているとは言えません。

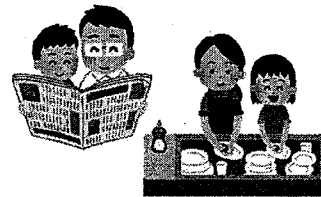
絵本、ぬり絵、ブロック・パズルほか、より安全性の高いもので遊ばせ、スマホ等はやむをえないときに使うものと考えましょう。



コミュニケーション力の欠如や依存が心配

スマホやゲームばかりしていると、コミュニケーション力が育たないのではないか、そのうち依存症になるのではないかと、という不安を感じている保護者も少なくないようです。

言語活動能力は子供たちに必要な力として、学校でも指導が行われています。一緒に遊ぶ・学ぶ、楽しく会話をするなど、日々の生活での小さな積み重ねが将来役に立つと考え、工夫してみましょう。家族のコミュニケーションが楽しければ、スマホやゲームに向かう時間が自然と減り、依存予防にもつながります。



うっかり課金や、不適切な情報を見ってしまうことへの心配

よくわからなまま課金を繰り返してしまい、高額請求が届いてから判明するトラブルも、低年齢化しています。貸し与える機器を課金の都度パスワード入力が必要な設定にすること、パスワードを子供に見せない・教えないこと、この二つを守ることで防ぎましょう。

また、意図せず不適切な情報・動画を見ってしまうことを心配する声も多く聞かれます。動画は、「動画閲覧サイトやアプリの制限付きモードをオンにする」「子供用の動画閲覧アプリを利用する」ことで防げます。その他の情報については、フィルタリングを！

普段使うスマホにフィルタリングをかけてしまうと、自分が使うときに困りませんか？操作が面倒では？

大丈夫！携帯電話会社のフィルタリングサービスは「あんしんフィルター for (企業・ブランド名)」に統一され、ちょっとした操作でフィルタリングのオン/オフができるようになりました。

フィルタリングサービスを利用するには、申し込みが必要です。窓口やサイトなどで「あんしんフィルター」を使う申請を行い、適用後に初期設定を行いましょう。普段はオフにしておけば、不便なことは全くありません。



あんしんフィルターの目印は左のロゴ。うまく活用して貸し与えるスマホにお子様のための安全な利用環境を！

※子供が自由に使える機器への設定やフィルタリングの詳細は、P25～26をご覧ください。

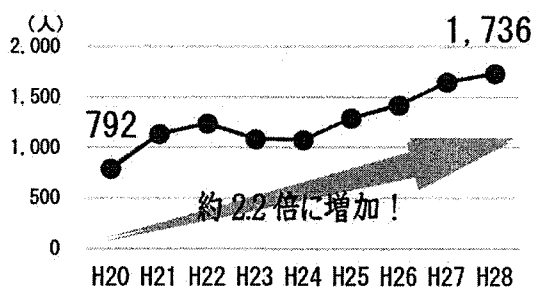
データで考える！インターネットトラブルの現状と傾向

<P11⑤～P14⑧の事例と合わせて考えてみましょう>

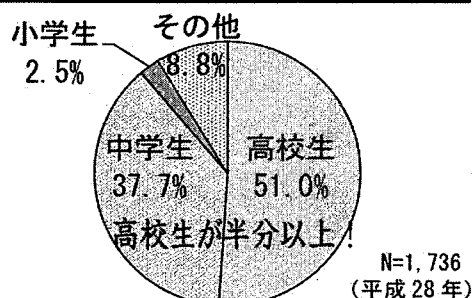
出会い系サイト規制法改正(平成20年)に伴い、出会い系サイトに起因する犯罪被害児童は年々減少しており、平成28年度の被害は過去最少でした。その反面、コミュニティサイトによる被害児童が急増しています。

SNSなどのコミュニティサイトを通じた犯罪被害は、過去最多

コミュニティサイトで被害にあった子供の数※



コミュニティサイトで被害にあった子供の内訳※

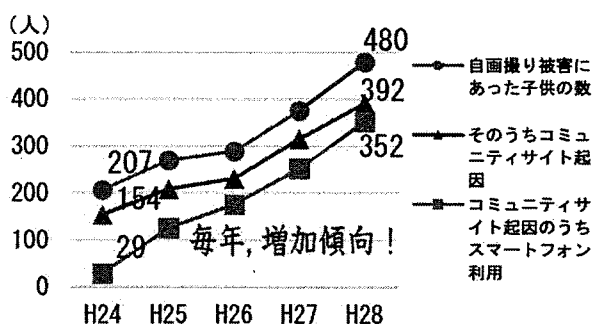


※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

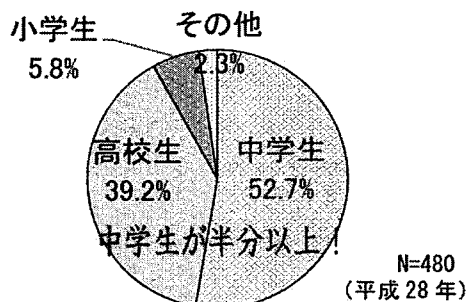
コミュニティサイトでのやり取りがきっかけで、児童買春や児童ポルノ等の性犯罪被害にあう子供が急増しています。その半数以上は「善悪の区別や危険の判断はできるから」と、SNSを比較的自由に活用している高校生。リアルな友達とネットで知り合う人の違い、頭ではわかっているはずなのに……。

たまされたり脅されたりして、裸の写真を送らされる被害も年々増加

自撮り被害にあった子供の数※



自撮り被害にあった子供の内訳※



※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

裸や下着姿のような露出の多い写真を要求され、自ら撮影した画像を送信させられる被害も増えています。コミュニティサイト+スマホという組み合わせが圧倒的に多く、中学生が半数を超えています。18歳未満の子供の裸の写真は、“撮影”も“送信”も“所持”も児童ポルノ禁止法違反なのに……。

LET'S TRY

ネットの向こう側の人を見極めることは、大人でも簡単ではありません。「人とのやり取りにより生じる危険=コンタクト・リスク」を避けるためには、データから背景を想像し、そのリスクの存在を知っておくことが必要です。